

東京湾海況情報 R07-4

東京湾水質調査結果（令和7年7月）

（令和7年7月18日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 7/7 ふさなみ（内湾）、7/8 ふさなみ（内房海域）、関東・東海海況速報

7月7日、8日にふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は内湾で27～30℃、内房海域で26～28℃と、内湾、内房ともに最近10年間の平均値より4～5.5℃高い状況でした。表層塩分は内湾で14～31、内房海域で30～34と、内湾、内房ともに最近10年間の平均値並～2高い状況でした（図1～3、表1）。黒潮の接岸や6月の気温が記録的な高温であった影響により、表層水温が非常に高く、強い成層構造が発達していました。

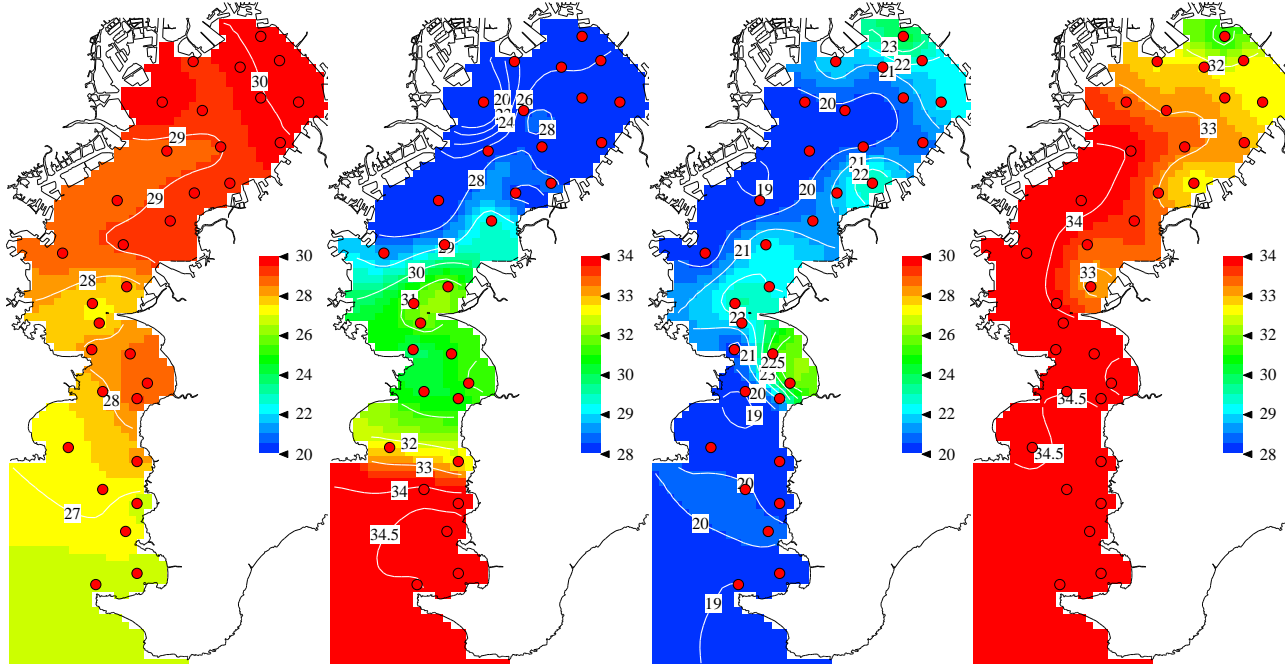
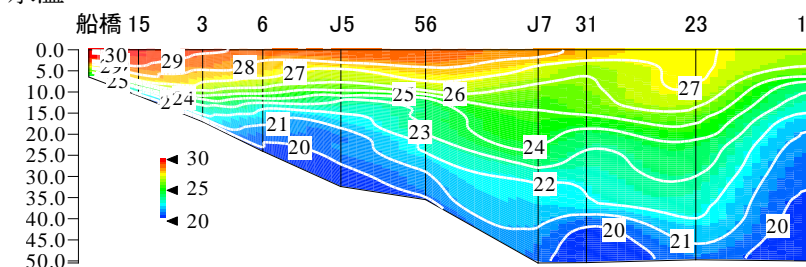


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温



塩分

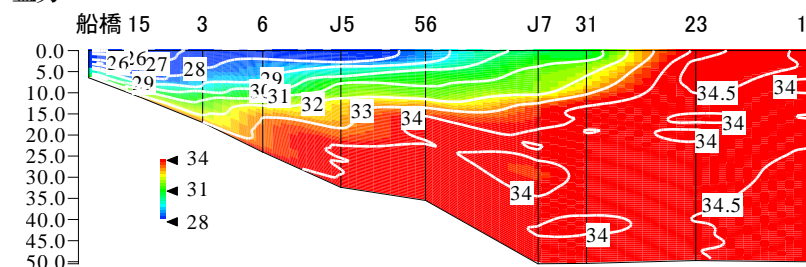


図3 縦断面の水温・塩分

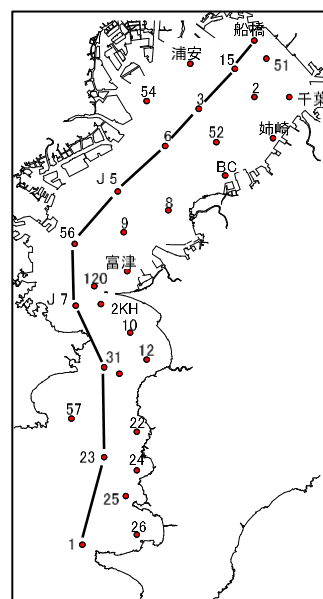


図4 水質調査点
（実線は調査ライン）

【赤潮】

透明度は内湾で 1.3~2.8 m, 内房海域で 2.8~19.0m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は, 内湾で 5 µg/L 以下~61 µg/L, 内房海域で 5 µg/L 以下~6 µg/L でした (図 6)。赤潮が湾奥で確認され, プラントンの優占種は珪藻スケルトネマ属, コシノディスカス属などでした。

千葉県赤潮の目安

色	オリーブ~褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 µg/L 以上

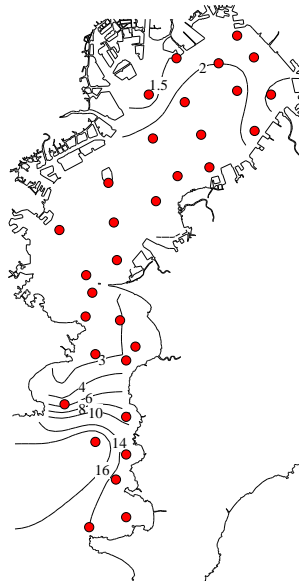


図 5 透明度

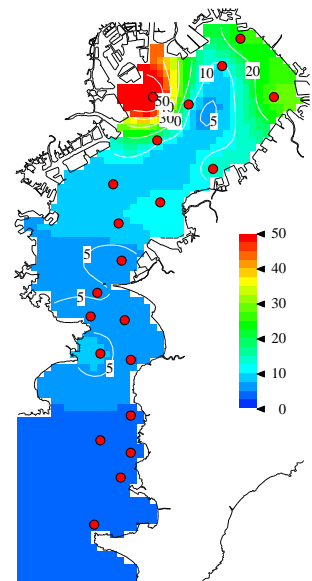


図 6 クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊は内湾のほぼ全域に分布し, 横浜沖では中層化がみられました (図 7, 8)。

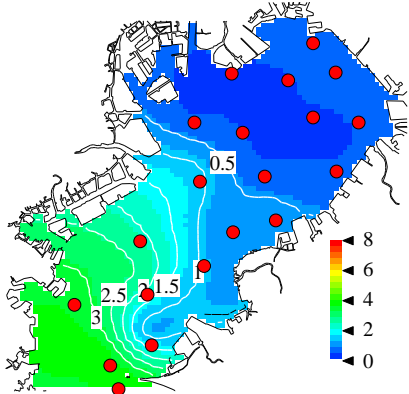


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

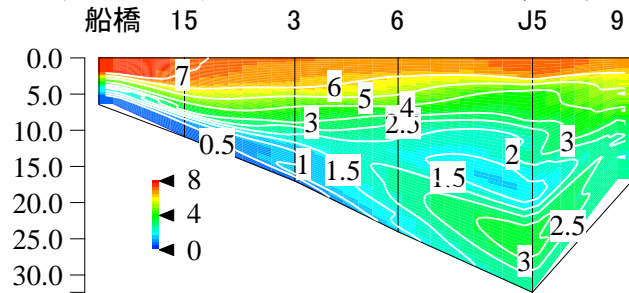


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

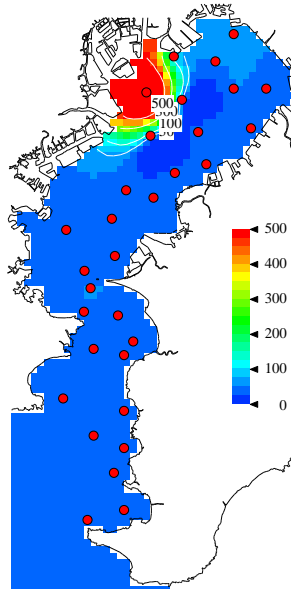
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は内湾で 50 µg/L 以下~1004 µg/L, 内房海域で 50 µg/L 以下でした。表層のリン (DIP) は内湾で 5 µg/L 以下~6 µg/L, 内房海域で 5 µg/L 以下でした (図 9)。

6 月中旬から下旬に内湾の広範囲で赤潮が発生し, 植物プランクトンが栄養塩を消費したため, 窒素, リンともに最近 10 年間の平均値と比べて極めて少ない状況でした (表 1)。

DIN



DIP

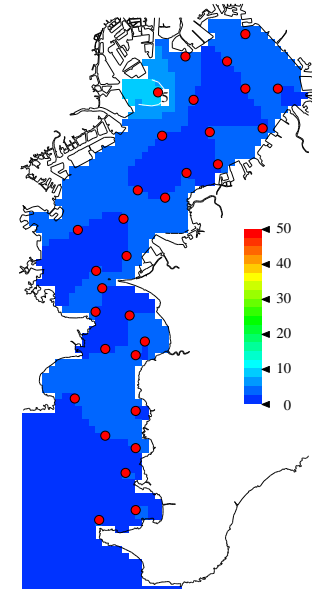


図 9 表層の栄養塩濃度 (µg/L)

【黒潮】

黒潮はC型流路でした。黒潮が房総半島沿岸に接岸傾向であったため、湾口付近の水温は27°C台と高く、また、外房の地先水温も例年より高い状況でした(図10)。

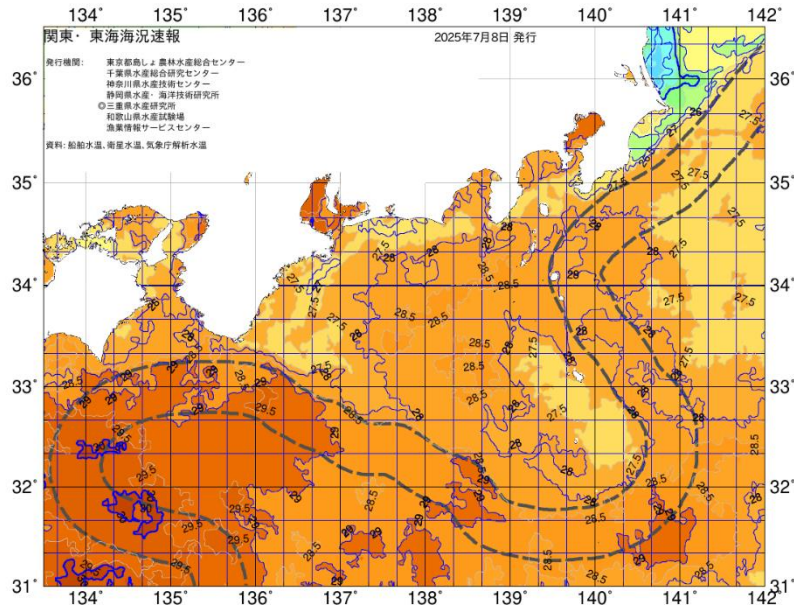


図10 黒潮の動き (令和7年7月8日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)
():最近10年間の平均値(2015~2024年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニア態 窒素 (μg/L)	溶存無機態 窒素 (μg/L)	リン酸態 リン (μg/L)	クロロ フィルa (μg/L)	
内 湾	船 橋	30.3 (25.6)	24.8 (24.9)	1.7 (1.8)	9.2 (8.6)	0.0 (3.0)	27.6 (116.1)	34.9 (344.8)	0.0 (30.5)	24.8
	st.15	29.6 (25.2)	25.9 (24.6)	2.0 (1.8)	9.2 (8.6)	0.0 (1.9)	21.6 (71.1)	25.9 (253.6)	0.0 (20.0)	8.1
	st.3	29.3 (24.8)	27.3 (25.2)	2.4 (2.0)	9.1 (8.6)	0.0 (0.8)	45.0 (71.4)	51.1 (236.1)	0.0 (19.9)	12.5
	st.6	28.7 (24.3)	27.2 (26.4)	2.3 (2.6)	9.1 (8.5)	1.1 (1.0)	26.8 (93.2)	33.2 (297.0)	0.0 (27.4)	11.1
	st.9	29.3 (24.1)	28.7 (29.7)	2.4 (3.3)	9.0 (8.4)	2.4 (2.6)	10.8 (37.7)	15.0 (127.4)	0.0 (16.2)	8.0
	st.BC (盤洲Cブイ)	29.2 (25.0)	28.1 (28.8)	2.2 (2.9)	9.1 (8.5)	0.6 (3.7)	8.8 (52.5)	12.8 (126.7)	0.0 (16.0)	12.6
	st.8 (盤洲A南)	29.4 (24.4)	29.3 (29.7)	2.4 (3.0)	9.0 (8.4)	1.0 (1.9)	9.3 (46.8)	13.2 (146.9)	0.0 (21.6)	9.1
富 津	27.6 (23.2)	31.4 (30.3)	2.4 (3.3)	8.8 (8.4)	0.9 (3.6)	7.2 (59.5)	11.7 (149.6)	0.0 (11.4)	3.2	
内 房 海 域	st.2KH (第2海ほ下)	27.4 (23.1)	31.4 (30.8)	3.0 (3.2)	8.8 (8.2)	3.7 (4.6)	25.5 (31.5)	30.4 (83.6)	0.0 (12.6)	5.5
	st.31	27.8 (22.5)	30.5 (31.2)	2.8 (4.3)	8.9 (8.3)	3.1 (4.4)	13.2 (24.8)	17.6 (76.7)	0.0 (10.2)	6.2
	st.23	27.2 (22.6)	34.1 (32.8)	19.0 (9.7)	8.6 (8.3)	4.5 (4.7)	11.9 (11.7)	16.1 (28.9)	0.0 (3.0)	1.2
	st.1	26.7 (22.2)	34.5 (33.6)	14.0 (11.6)	8.6 (8.2)	4.4 (4.9)	10.1 (15.3)	14.0 (30.2)	0.0 (1.2)	0.4
	st.10 (下洲沖)	28.5 (23.1)	30.8 (31.4)	3.0 (3.5)	8.9 (8.3)	4.5 (5.0)	7.1 (27.9)	11.0 (63.5)	0.0 (9.6)	4.2
	st.12 (湊沖)	28.6 (23.1)	31.0 (31.8)	3.3 (4.3)	8.9 (8.3)	3.7 (5.2)	10.4 (21.2)	14.2 (53.9)	0.0 (7.7)	
	st.22 (保田沖)	28.0 (22.8)	32.2 (32.9)	8.0 (8.4)	8.8 (8.3)	4.3 (4.9)	7.9 (9.0)	11.3 (21.6)	0.0 (2.3)	2.4
	st.24 (富山沖)	26.6 (22.6)	34.5 (33.4)	12.5 (5.9)	8.6 (8.3)	4.5 (4.8)	12.8 (6.9)	17.1 (15.2)	0.0 (1.0)	0.6
	st.26 (館山湾内)	26.7 (22.4)	34.6 (33.6)	12.0 (9.5)	8.6 (8.2)	4.4 (5.0)	9.0 (10.0)	13.0 (18.5)	0.0 (1.2)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。